



新社長メッセージ

2023/1/31

日本ハム株式会社 代表取締役副社長 井川伸久



たんぱく質を、もっと自由に。

Nipponham Group Vision 2030

1. メッセージ
2. 来期の戦略
3. 中長期的な戦略
4. 新役員体制
5. 新組織体制

**「中期経営計画2023」策定後の激変した外部環境により、
事業の稼ぐ力が低迷したと危機感を抱いている**

**限界を迎えていたビジネスモデルの構造改革を、
2030年からのバックキャスト思考で進めていたが、
よりスピード感と環境に合った優先順位で取り組まなければ、
私たちの求める事業・社会価値向上の実現は厳しいと認識している**

**ステークホルダーと
課題認識を共有し、持続可能な企業としていきたい**

強みを伸ばす事業戦略で来期の事業利益を400億円の水準に回復へ

加工事業

コスト削減の実施に向け、**効率化戦略**を加速化
主力ブランドの**回復**・新たなブランド**育成**で利益率を改善

食肉事業

フード営業を強化し利益額を拡大。国内生産の強化や
輸入食肉の調達体制を強化し、大幅な増益を図る

海外事業

牛肉事業はBPUの株式譲渡により**豪州に集中**、北米加工品
の販売拡大と合わせて利益額の拡大を図る

球団・その他

HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE開業で
新たな収益モデルを構築。

横断戦略

専任部署の新設で、フード会社による**加工品販売**や
効率的な**グループ内物流体制構築**を実現

たんぱく質の安定供給を果たすため、スピード感と覚悟を持って ビジネスモデルの変革に挑戦し続ける

「事業・社会的価値」の飛躍的な向上を目指す

構造改革

最適ポートフォリオの追求

アセットライト化の推進（省人化・機械化・外部アセットの活用）

事業戦略

加工事業

最適な供給体制の下、高付加価値商品に経営資源を重点配分

食肉事業

国産食肉の圧倒的調達力を確立。シェア25%と収益の最大化を図る

海外事業

牛肉事業の収益安定化に加え、加工事業の規模拡大を図る

サステナビリティ
戦略

マテリアリティ解決を事業戦略に融合、将来の競争優位構築につなげる

横断戦略

DXによる新事業の創出とグループ物流事業の確立

取締役会の客観性を高め、機能強化を図るため

取締役会議長と社長を分離

2023年6月下旬の経営体制（予定）

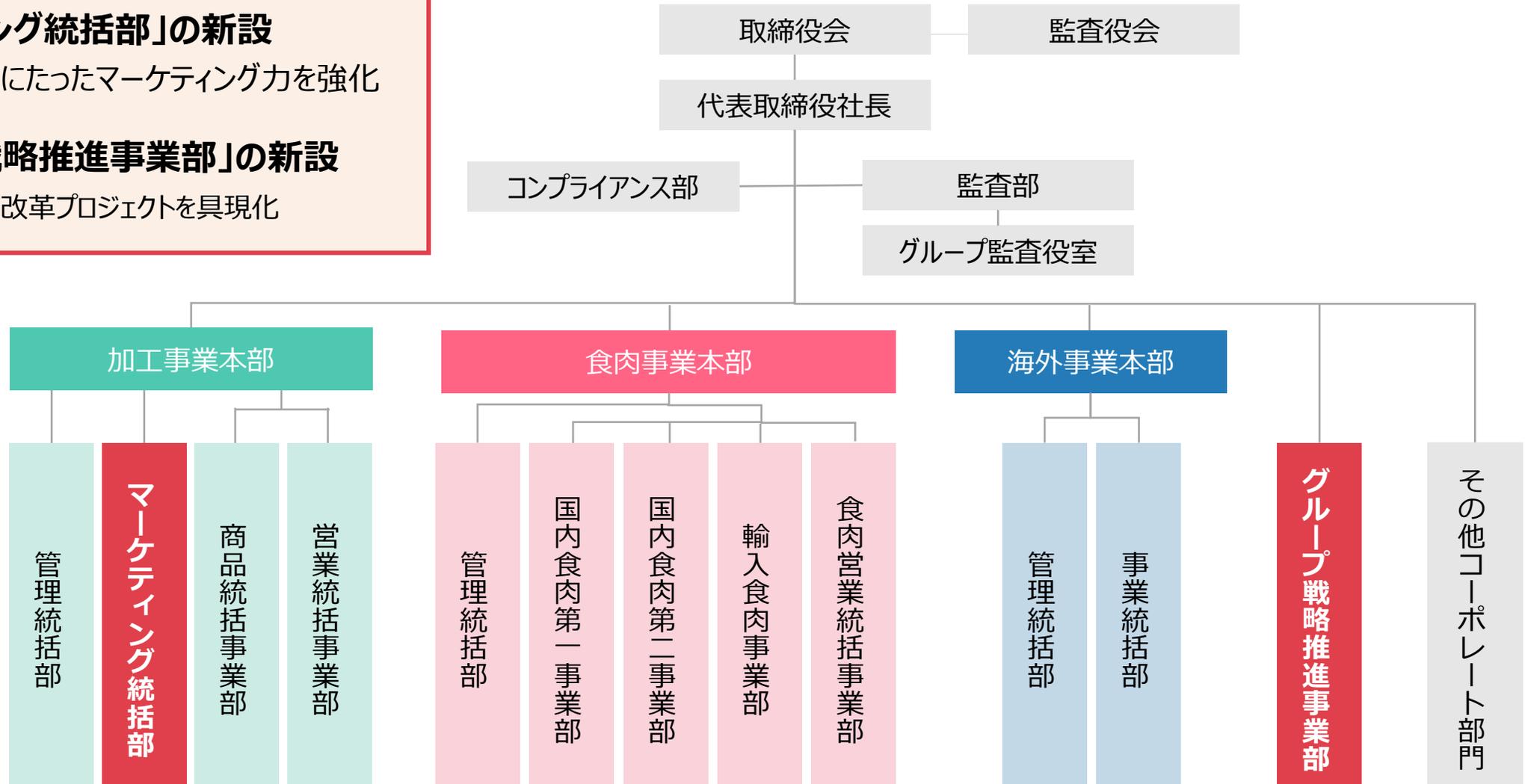
役職	名前	担当職
取締役会長	木藤 哲大	取締役会議長
代表取締役社長 社長執行役員	井川 伸久	
取締役 常務執行役員	前田 文男	食肉事業本部長
取締役 常務執行役員	片岡 雅史	経理財務部、サステナビリティ部担当、東京支社長
取締役 常務執行役員	秋山 光平	人事部、法務部、総務部、広報IR部、秘書室担当
取締役（社外）	河野 康子	
取締役（社外）	荒瀬 秀夫	
取締役（社外）	山崎 徳司	

5. 新組織体制_2023年4月1日付

(2023年4月1日付)

< 変更のポイント >

- ① 「マーケティング統括部」の新設
→ 顧客視点にたったマーケティング力を強化
- ② 「グループ戦略推進事業部」の新設
→ 営業・物流改革プロジェクトを具現化



お問合せ先

〒141-6013 東京都品川区大崎2-1-1

Think Park Tower

日本ハム株式会社 広報IR部

電話：03-4555-8024

メールアドレス：nhfoods.ir@nipponham.co.jp

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願いいたします。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。